



博多区のまちづくりの方向性



博多駅、博多港、福岡空港などの広域交通拠点を擁し、都心部では歴史・文化が生活の中に息づき、業務・商業施設と住宅が複合した市街地、空港周辺部では住宅とスポーツ施設、流通施設が集中する市街地、区の中・南部では住宅を中心とした市街地が広がりを見せるなど、南北に多様な市街地が形成されています。

博多区では、九州新幹線全線開業を契機として、陸・海・空の玄関口の連携の強化や都市機能や生活環境の充実を図るとともに、歴史と伝統が息づき、人が交流する住み続けたいまちづくりをめざします。

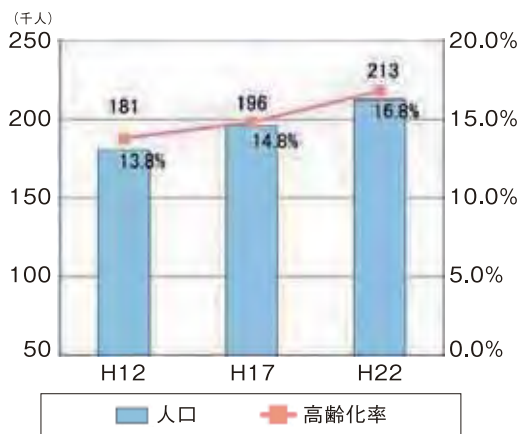


▲博多駅



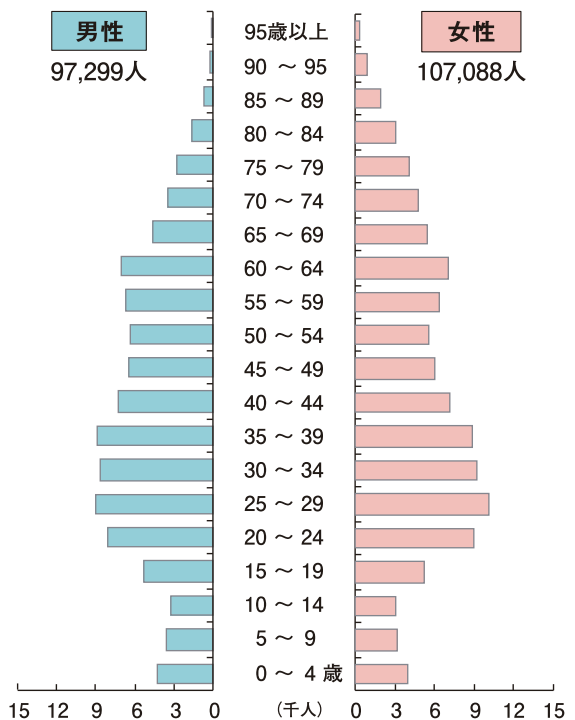
▲東平尾公園

■博多区 人口と高齢化率の推移(国勢調査)



	平成12年	平成17年	平成22年
人口	180,722	195,771	212,527
増減率	6.7%	8.3%	8.6%
15歳未満	22,249	22,015	21,276
割合	12.3%	11.2%	10.4%
15～64歳	133,247	138,342	148,740
割合	73.7%	70.7%	72.8%
65歳以上	24,958	28,898	34,371
割合	13.8%	14.8%	16.8%

■博多区 5歳階級別人口



資料：平成22年国勢調査（注）年齢不詳を除く

《まちづくりの方向性》

交流

- 博多駅・博多港・福岡空港では機能強化に向けた整備・検討などを進め、九州・アジアの陸・海・空の玄関口としての交流拠点の形成を図るとともに、地下鉄七隈線の天神南～博多間の延伸事業の推進など、各拠点間の連携強化や都心部の回遊性の向上を図ります。

活力

- 博多ふ頭・中央ふ頭では、海に開かれたアジアへの玄関口として、マリンメッセ福岡や福岡国際会議場などのコンベンション機能が集積し、人・物・情報が交流する拠点づくりを進めます。

活用

- 博多部の西側では、西日本を代表する歓楽街の中洲があり、古くからの商店も軒を並べる川端商店街や、文化・芸術を楽しめる博多座、アジア美術館などが立地しており、昼も夜もにぎわいをみせる活力あるまちづくりを進めます。

快適

- 櫛田神社などの歴史的資産を核とし、参道やその周辺を含めて歴史や伝統を活用した景観の保全・創出などのまちづくりを地域と連携して進め、集客力や回遊性を高めていきます。

環境

- 鉄道駅などを中心に業務・商業施設と住宅が共存する便利で活気のあるまちづくりを進めます。特に雑餉隈駅周辺は、鉄道高架化に合わせて拠点機能の強化を図ります。

安全

- 住宅を主とした地区では、コミュニティづくりを進めるとともに安全で快適に生活できる住宅地づくりを進めます。

- 空港の東側丘陵地(東平尾公園)では、緑に囲まれ、市民が気軽にスポーツを楽しめるスポーツ・レクリエーションの空間づくりを進めます。



- 警固断層周辺では、大規模地震発生時における被害を最小限に抑えるため、中高層建築物の耐震強化を促進します。災害時などの安全を確保するため、那珂川などでは浸水対策を進めるとともに、狭あい道路の多い地区などでは道路環境の改善を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

博多区の将来像とまちづくりの視点



全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの視点などについて、以下のとおりに整理します。

● 拠点など





拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
都心核 (博多駅、博多ふ頭・中央ふ頭) 	《博多駅》 西日本の中枢となる業務が集まる核として、商業機能や文化機能が充実し、回遊性が高く、景観にも優れ、快適に働ける福岡の顔となるまち 《博多ふ頭・中央ふ頭》 九州・アジアの海のゲートウェイとして人・物・情報が交流する集客・交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度な機能集積に対応したゆとりのある歩行空間の確保 ○ 幹線道路に面していない街区の有効利用の促進 ○ 地上と地下のネットワークの形成 ○ 建物内外のゆとり空間の確保 ○ 博多駅周辺の交通結節機能の強化 ○ 福岡の顔にふさわしい景観・緑の創出とオープンスペースの確保 ○ 観光バス交通の処理(乗降場の確保) ○ クルーズ客船の受入環境の充実 ○ 天神・博多駅との交通アクセス機能の強化
都心拠点 (中洲川端、御供所・冷泉) 	《中洲川端》 福岡市の代表的なアミューズメント・商業ゾーンとして、博多の文化機能と商業機能の集積を生かしたにぎわいのあるまち 《御供所・冷泉》 寺社などの歴史的資産や伝統的な祭りや文化を生かした歴史・文化を感じるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業・業務機能の充実と、魅力ある商業空間の形成 ○ 魅力ある歩行空間の確保 ○ 周辺地区との連携強化
地域拠点 	鉄道駅を中心に行政サービス施設や商業施設が集積し、魅力的な街並み、回遊性が高い歩行空間を持った地域の中心となるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街の活性化など商業・サービス機能などの適正な誘導 ○ 鉄道高架化による交通や地域の分断の解消 ○ 交通結節機能の強化 ○ 地域拠点にふさわしい景観の誘導
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に対応した商業・サービス機能の強化 ○ 安全に歩ける歩行空間の形成
地下鉄七隈線駅周辺ゾーン 	駅を中心として利便施設が集まったまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道駅周辺としてふさわしい土地利用の誘導 ○ 魅力ある街並みの形成とオープンスペースの確保 ○ 周辺地域から鉄道駅へのアクセス性の向上

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路などの整備状況に応じた土地利用の誘導 ○沿道の有効利用 ○連続性のある良好な街並みの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの形成

● 将来のまちづくりを検討するエリア

ゾーン	まちの将来像	まちづくりの視点
跡地活用 検討ゾーン (青果市場) 	市街地内の貴重な活用可能地として、新たな機能の導入などを検討するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ○長期的な視点での跡地活用の検討
新駅周辺ゾーン 	鉄道駅を中心として利便施設が集まったまち	<ul style="list-style-type: none"> ○交通結節点としてふさわしい土地利用の誘導 ○周辺地域から鉄道駅へのアクセス道路の確保 ○駐輪場などの確保

● 環境資源などを保全・活用するエリア

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
歴史景観 拠点ゾーン 	寺社周辺の歴史的景観に配慮した歴史・文化のあふれる櫛田神社、聖福寺、住吉神社及び周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の保全 ○緑豊かで魅力的な景観の形成 ○快適な歩行者動線の確保 ○歴史的景観を保全・創造するための歴史的街並みづくり
都市の緑活用空間 	丘陵地の豊かな緑に囲まれ、市民や来街者が自然とふれあえるスポーツ・レクリエーションと憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> ○東平尾公園の機能の充実・強化
空港周辺ゾーン 	空港関連の商業・業務施設が集積する空港周辺エリア	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺も含めた福岡市の空の玄関口としての景観づくり ○歩行空間などの確保
河川緑地軸 	御笠川など、地域の散策・憩いの場となるとともに、緑と広がりのある景観が連続したゆとりと潤いのある水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で快適な都市基盤の整備 ○河川沿いの緑化などの美しい都市景観の形成 ○親水性の向上

●土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア

ゾーン	現況	まちづくりの視点
<p>都心核周辺ゾーン</p> 	<p>都心機能を補完する業務施設・商業施設と中高層住宅が集積した職住近接の複合型のまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高い指定容積率の有効活用 ○ファミリー世帯の居住誘導 ○都心機能の向上 ○歩行空間の確保 ○回遊性の向上 ○緑化の推進
<p>複合市街地ゾーン</p> 	<p>住宅を中心に歴史・伝統・文化が息づき、都心機能を支援する業務施設・商業施設が共存する複合市街地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行空間の確保 ○狭あい道路の改善 ○老朽木造集中地区での延焼防止 ○低層住宅地の環境保全 ○職住が調和した複合市街地づくりと良好な街並みの形成 ○歴史的景観を保全・創造するための歴史的街並みづくり ○博多部の歴史や商業などを生かした魅力ある歩行空間のネットワーク強化
<p>中高層住宅ゾーン</p> 	<p>大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅で形成される住宅地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中高層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○大規模団地などの老朽化に対する適切な対応
<p>低中層住宅ゾーン</p> 	<p>戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○低中層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○低層住宅と中層住宅の調和 ○狭あい道路の改善
<p>低層住宅ゾーン</p> 	<p>戸建住宅などの低層住宅を主とする住宅地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○低層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○老朽化した戸建住宅などの課題への対応 ○狭あい道路の改善

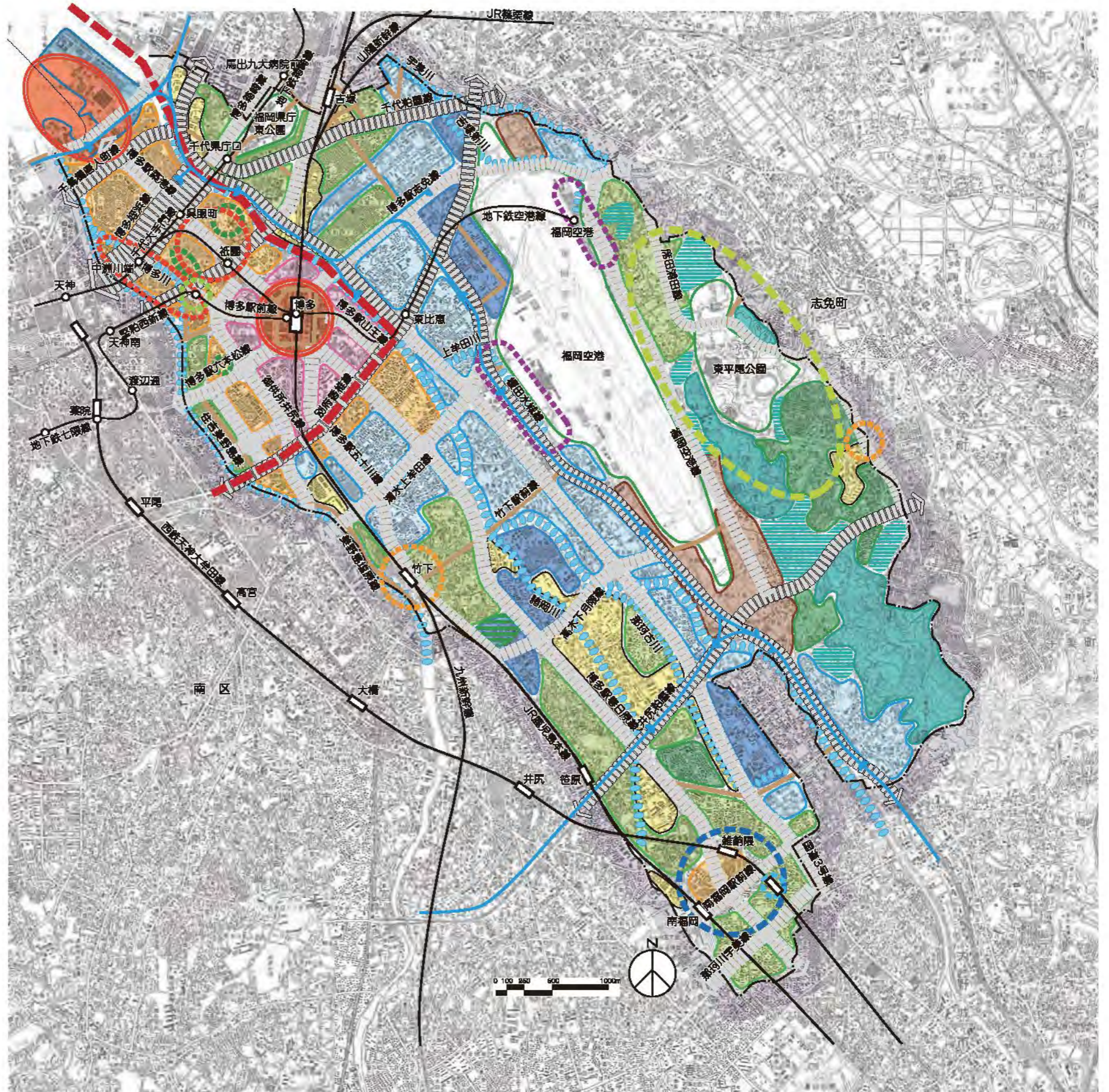
ゾーン	現況	まちづくりの視点
山地・丘陵地 	市民のスポーツとレクリエーションの場となる東平尾公園とともに、優れた景観をかたちづくる博多の森丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ○緑地の保全・育成 ○無秩序な開発の抑制
港湾機能ゾーン 	国内外を結ぶ海上交通アクセスの拠点、豊かな市民生活を支える高度な物流の拠点、港湾管理機能の拠点となるみなど	<ul style="list-style-type: none"> ○ターミナル機能の向上 ○背後地との交通アクセス機能の強化 ○ふ頭整備に伴う物流機能の再編
住工共存ゾーン 	工場や倉庫、事業所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○狭あい道路の改善 ○住宅の多い地区での良好な市街地環境の保全・形成 ○敷地内緑化などによる緩衝機能の強化
流通・工業ゾーン 	工場や倉庫、事業所などの工業系の施設が集積するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○流通・工業の拠点としての機能維持・向上 ○住宅の無秩序な立地の抑制 ○大型車両の円滑な交通処理
移転跡地等ゾーン(空港周辺) 	航空機騒音により生じる障害が特に著しい地域で、緩衝緑地などの移転補償跡地と一部民有地が混在するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○騒音による影響が比較的少ない商業、流通工業施設やスポーツ・レクリエーション施設などの適正誘導

博多区の将来像図

※この将来像図は、全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて分類した拠点・ゾーン・軸を示した図面です。

【凡例】

- 拠点等●
- 都心部
- 都心核 (博多駅、博多ふ頭・中央ふ頭)
- 都心拠点 (中洲川端、御供所・冷泉)
- 地域拠点
- 生活商業地
- 地下鉄七隈線駅周辺ゾーン
- ▨ 都市軸
- ▨ 沿道軸
- 将来のまちづくりを検討するエリア ●
- ▨ 跡地活用検討ゾーン (青果市場)
- 新駅周辺ゾーン
- 環境資源等を保全・活用するエリア ●
- 歴史景観拠点ゾーン
- 森の緑地活用空間
- 空港周辺ゾーン
- 河川緑地軸
- 土地利用等の現況から市街地を類型化したエリア ●
- 都心核周辺ゾーン
- 複合市街地ゾーン
- 中高層住宅ゾーン
- 低中層住宅ゾーン
- 低層住宅ゾーン
- 山地・丘陵地
- 港湾機能ゾーン
- 住工共存ゾーン
- 流通・工業ゾーン
- 移転跡地等ゾーン (空港周辺)
- ▨ 都市計画道路等
- ▨ 自動車専用道路
- 地下鉄
- ▨ 鉄道
- ▨ 大規模施設
- ▨ 区界



博多区《現況・課題》

〔凡例〕

- | | | | |
|----------------------|---------------------|---|----------------------|
| 都市計画道路等
(整備済) | 自転車駐車場(公営) | その他の教育施設
(中、高、大) | 標高80m以上 |
| 都市計画道路等
(未整備・整備中) | 自転車駐車場
(都市計画施設) | 公共文化施設 | 河川ため地 |
| 自転車専用道路 | 農地の多い区域
(市街化区域内) | 文化財・寺社 | 鉄道 |
| 街区公園 | 商店街 | 市民農園 | 地下鉄 |
| 主な都市公園 | 大規模な店舗
(1000㎡以上) | 地区計画区域等 | 新線 |
| 主な農地 | 小学校 | 土地区画整理事業施行地区 | 市街化区域および
市街化調整区域界 |
| 特別緑地保全地区、
農地保全林地区 | 小学校区界 | 狭い道路分布地区
(4m未満の道路が多い地区) | 境界 |
| バスターミナル | | 築30年以上の木造建築物が多い地区
(築30年以上の木造建築物が50%以上) | |
| トラックターミナル | | | |

- 博多区は、由緒ある神社仏閣や、板付遺跡、金隈遺跡などの歴史的資産が多く、博多祇園山笠や博多織などの伝統的な祭りや工芸などの独自の文化を育み、港町、商人の町として栄えてきました。
また、陸、海、空の玄関口である博多駅、博多港、福岡空港を有し、国内外からの来街者が多く、歴史と伝統を生かした回遊性の向上など、地域の魅力づくりや集客機能の強化が課題となっています。
- 現在、福岡空港では空港機能の強化を図るため、国内線ターミナル地域の再編や滑走路増設計画が進められています。
- ウォーターフロント地区には、マリンメッセ福岡や福岡国際会議場、福岡サンパレスなどの大規模なコンベンション機能が集積しています。
- 博多部の西側には、西日本を代表する歓楽街の中洲があり、古くからの店舗も軒を並べる上川端商店街や、日本・アジアの文化を楽しめる博多座、アジア美術館などが立地しており、昼も夜もにぎわいをみせるまちになっています。
- 都心部の周辺では、千代・吉塚や、那珂川沿いでの計画的なまちづくりにより、良質な環境を持った職住近接の都市型住宅地が形成されています。
- 区南部の雑餉隈では、コミュニティ機能を主とした複合的な機能を持つ「さざんびあ博多」(地域交流センター)が整備されるなど区レベルの行政サービス機能の充実が図られています。更に西鉄天神大牟田線の高架化にあわせて新駅設置の計画が進められています。
- 空港の東側丘陵地には、市民のスポーツとレクリエーションの場となる東平尾公園があり、敷地内にはサッカースタジアムやテニス競技場、陸上競技場、屋内プールなど様々な施設が整備されています。
- 市民の日常生活の利便性を高める商店街は、主に上川端町や千代、美野島、竹下、雑餉隈などで形成されています。
- 土地区画整理事業施行区域から外れる千代、吉塚、住吉、美野島、竹下、雑餉隈、東平尾、月隈などは、古くから市街地が形成され、幅員4m未満の狭い道路が多い地区となっています。特に、吉塚、美野島、竹下、雑餉隈などは、築30年以上の木造建築物も多く立地しているため、災害時の安全性などの面で課題となっています。
- 都心部では単身世帯が増加し、居住者の移動が多いことから、地域の昔ながらの連帯感が薄れつつあります。今後とも、住民のまちづくり活動への参加を促し、コミュニティの活性化を図る必要があります。
- 鉄道駅周辺を中心に放置自転車が増え、依然多い状態となっており、自転車利用に関するマナーや安全な歩行空間の確保が課題となっています。

